

PIXELA

MXシリーズ

43インチ 4K液晶ディスプレイ

型番:PIX-43MX100

取扱説明書

このたびは、4K 液晶ディスプレイ「PIX-43MX100」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

- "HDMI"、"HDMI" ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- "DisplayPort"は、Video Electronics Standards Associationの商標、または登録商標です。
- 本書に記載している社名・製品名・サービス名は、各社の商標、登録商標、および製品です。一部申請中のものも含まれます。
- 本書では®およびTMなどの商標マークは省略させていただいております。



目次

安全上のご注意	2
使用上のご注意	
お手入れについて	4
知っておいていただきたいこと	4
守っていただきたいこと	5
本書について	5
本製品について	5
はじめに	
内容品を確認する	6
本体各部のはたらき	6
基本操作	8
電源を入れる	8
外部入力を切り換える	8
音量を調整する	8
HDR モードを設定する	8
USB ハブ機能を使用する	8
マルチ画面表示を設定する	9
スタンドを取り外す	9
チルト	9
メニュー画面一覧	10
こんなときは?	12
主な製品仕様	14

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、かならず守っていただきたい事項を説明しています。



禁止事項（してはいけないこと）を示します。



順守事項（かならずすること）を示します。

警告 死亡または重症を負う危険性があり、かつ、その切迫の度合いが高いことを示します。	
設置について	
禁止	振動や衝撃がある場所や、傾斜しているなど、不安定な場所に置かない。 ➡ 転倒または落下し、故障やけがの原因になります。
	本製品の上にものを置いたり、本体の通風孔をふさがない。 ➡ 内部温度が上昇したり、液体や金属類が内部に入ると、火災・感電・故障の原因になります。
	船舶や自動車など、乗り物の中で使用しない。 ➡ 転倒して、けがの原因になります。
指示	電源ケーブルのアース線は、必ず電源プラグをコンセントに挿す前に接地してください。 電源ケーブルのアース線の接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。 ➡ 感電やけがの原因になります。
電源ケーブルの取り扱いについて	
禁止	コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V 以外での使用はしない。 ➡ たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
	電源ケーブルを熱器具に近づけたり、破損させたりしない。 ➡ 火災・感電の原因になります。
	電源ケーブルを傷つけたり加工しない。(無理に引っ張る・曲げる・ねじる、重いものをのせる、ドアなどではさむなど) ➡ 火災・感電・故障の原因になります。

指示	異音、異臭、煙が出ている場合や、故障や破損している場合は、本体に触れずに電源プラグをコンセントから抜く。 ➡ 火災・感電・故障の原因になります。修理・点検はお買い求めいただいた販売店、または弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。
	本製品に付属の電源ケーブルを使用する。 ➡ 火災・感電・故障の原因になります。電源ケーブルが破損したときは、弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。
	本製品を電源コンセントの近くに設置して、何か異常が起こったときに、容易に、すぐに電源プラグを抜けるように設置する。 ➡ 火災の原因になります。修理・点検はお買い求めいただいた販売店、または弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。
	電源プラグのほこりなどは、定期的に掃除する。 ➡ 火災の原因になります。電源プラグはコンセントから抜いて、乾いた布でふいてください。
本体の取り扱いについて	
禁止	本製品の分解や改造、修理などは絶対にしない。 ➡ 火災・感電・故障の原因になります。修理は弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。
	本製品の内部に指や物を入れない。 ➡ けがや感電、故障の原因になります。
	本製品に熱器具に近づけたり、破損させたりしない。 ➡ 火災・感電の原因になります。
	本製品を水につけたり、濡れた手で触れない。 ➡ 感電や故障の原因になります。
	雷鳴が聞こえたときは、本製品に触れたり使用しない。 ➡ 感電の原因になります。

 禁止	<p>サービスマン以外の方は裏ぶたをあけないでください。</p> <p>➡ 内部には高電圧部分が数多くあり、万ざわると危険です。</p>
 指示	<p>本製品の表面が破損したときは、電源プラグをコンセントから抜くまで、本製品に触らない。また、目や口に液晶を入れたり、ガラスの破片に触らない。</p> <p>➡ けが・中毒・かぶれの原因になります。もれた液晶が誤って目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。</p> <p>内部に液体や異物が入った場合は、本体に触れずに電源プラグをコンセントから抜く。</p> <p>➡ 火災・感電・故障の原因になります。修理、点検はお買い求めいただいた販売店、または弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。</p>

 注意	
障害を負うことや、物的損害の発生が想定されることを示します。	
 禁止	<p>直射日光が当たったり、極度に温度が高い場所に置かない。</p> <p>➡ 火災・故障の原因になります。</p> <p>風通しが悪い場所や、引火の恐れがある場所に置かない。</p> <p>➡ 内部温度が上昇し、火災・故障の原因になります。</p> <p>ほこり・油煙・湿気の多い場所に置かない。</p> <p>➡ 火災・感電の原因になります。</p> <p>液晶画面を強く指で押ししたり、物を投げつけたりしない。</p> <p>➡ ガラスが割れて、けがの原因になります。</p>
 指示	<p>小さなお子様の手が届かない場所に設置する。</p> <p>➡ 転倒または落下し、故障やけがの原因になります。</p> <p>本製品を運ぶときは、接続されているケーブル類をすべてはずし、ぶつけたりして衝撃を与えないように注意する。</p> <p>➡ 転倒または落下し、故障やけがの原因になります。</p> <p>本製品に付属の電源ケーブルを使用する。</p> <p>➡ 火災や感電、故障の原因になります。電源ケーブルが破損したときは、弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。</p> <p>長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。</p> <p>➡ 電源プラグにほこりがたまり、火災や感電の原因になります。</p> <p>内部の掃除は弊社または販売店に依頼する。</p> <p>➡ 内部にほこりがたまると火災・故障の原因となることがあります。3年に1度は内部の掃除を弊社ユーザーサポートセンターまたは販売店にご相談ください。</p>

使用上のご注意

お手入れについて

- お手入れのときは、かならず電源を切って電源プラグを抜いてください。
- 柔らかい布でやさしく空拭きしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を浸した布をよく絞って拭き取った後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品や研磨剤などのお手入れはしないでください。変色や変形のおそれがあります。
- 化学ぞうきんを使用したり、表面を擦るように拭いたりすると、表面に細かい傷が入ったり、変質や変色のおそれがあります。
- ヘアスプレーや殺虫剤など、揮発性の薬品がかからないように注意してください。
- 液晶パネルのお手入れは、市販の専用クロスや静電気除去ブラシを使用してください。
- 電源プラグにたまったほこりは定期的に掃除してください。ほこりがたまったまま使用したり、電源プラグのさし込みが不十分な場合、発火のおそれがあります。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

知っておいていただきたいこと

✓ かならず正面から視聴してください

モニターは正面から視聴してください。見上げるような角度で視聴すると画面が暗く見えます。また、モニターを設置するときは目の高さと同じ位置に設置してください。

✓ 本体が熱くなる場合があります

長時間使用すると、放熱のため本体が熱くなる場合があります。

✓ その他の知っておいていただきたいこと

- 本製品は日本国内での使用を前提に設計されています。故障や感電などの事故を引き起こすおそれがありますので海外では使用しないでください。
- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、画素欠けや常時点灯する画素を完全になくすことができません。画面上に常時点灯する点（輝点）や黒い点（滅点）がある場合がありますが、製品の不良ではないことをご了承ください。

守っていただきたいこと

✓ 画面の焼き付きに注意してください

長時間同じ画面を表示し続けると、部分的に消えない焼き付き（残像）が発生します。長時間同じ画面を表示することは極力避けてください。また、画面比率が4:3の映像を長時間表示すると16:9の映像を表示したときに両側に輝度が異なる部分ができることがあります。できるだけフルスクリーンでお使いください。

✓ 廃棄するときはルールを守って

本製品および本製品の梱包箱（緩衝材を含む）を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の条例や規則にしたがってください。

✓ その他の守っていただきたいこと

- 「安全上のご注意」の指示にしたがって正しく使用してください。
- 視力の低下を防ぐため、視聴時は画面と適度な距離をあげ、部屋を明るくしてお楽しみください。
- 周囲の人の迷惑にならないように適度な音量でお楽しみください。また、ヘッドホンを使用する場合は、大音量で必要以上に耳を刺激しないように注意してください。

本書について

- 本書で使用している画像は、実際とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、およびすべてを無断で転載することは禁じられています。

本製品について

- 本製品は日本国内での使用を前提に設計されています。電波障害や、故障や感電などの事故を引き起こす可能性がありますので海外では使用しないでください。
- 本製品は一般家庭用に設計・製造されています。人命に関わったり、高度な信頼性が必要な設備や機器などへの組み込みや制御などへの使用は意図されていません。
- 本製品および本製品のパッケージ（緩衝材を含む）を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の条例や規則にしたがってください。
- 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の適用を受ける場合があります。国外に持ち出す際には同法に基づきお客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。
- 感電や端子類の破損防止のため、お手入れの際はかならず電源を切ってから行ってください。

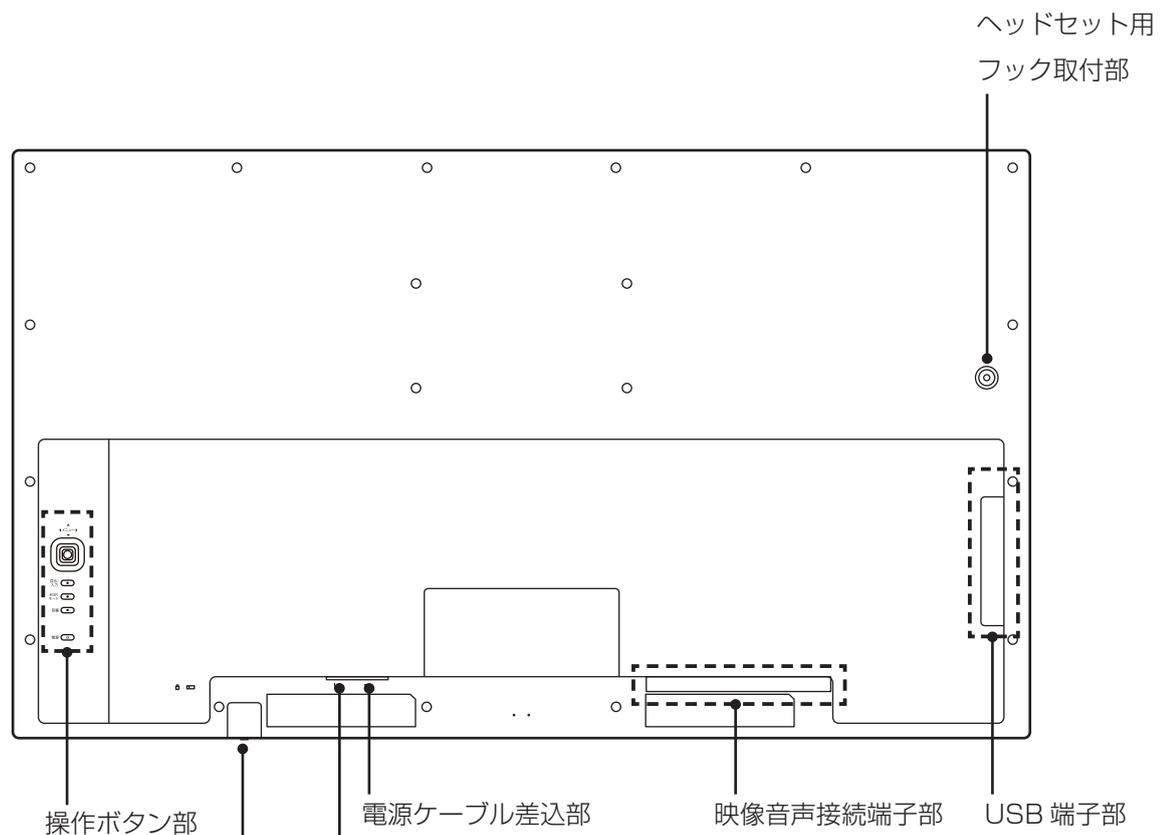
はじめに

内容品を確認する

本製品に付属する内容品を確認してください。そろっていないときは、お買い上げ日から2週間以内に弊社ユーザーサポートセンターまたは販売店にお問い合わせください。

- 本体
- 電源ケーブル
- HDMI ケーブル (1 本)
- ヘッドセット用フック
- 保証書
- 取扱説明書 (本書)

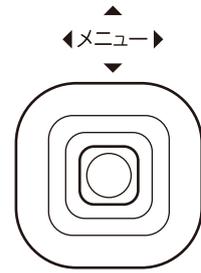
本体各部のはたらき



本体の状態を示します。

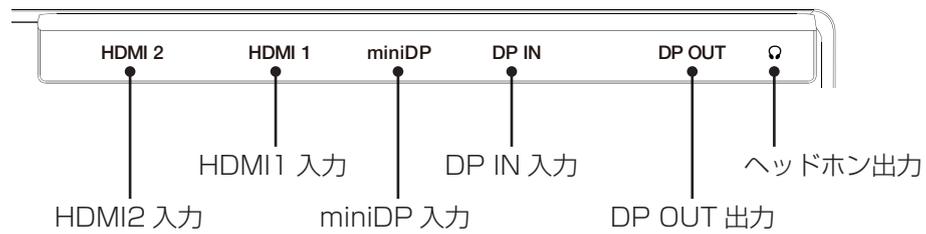
青	動作中
橙	待機中
消灯	電源オフ

■ 操作ボタン部

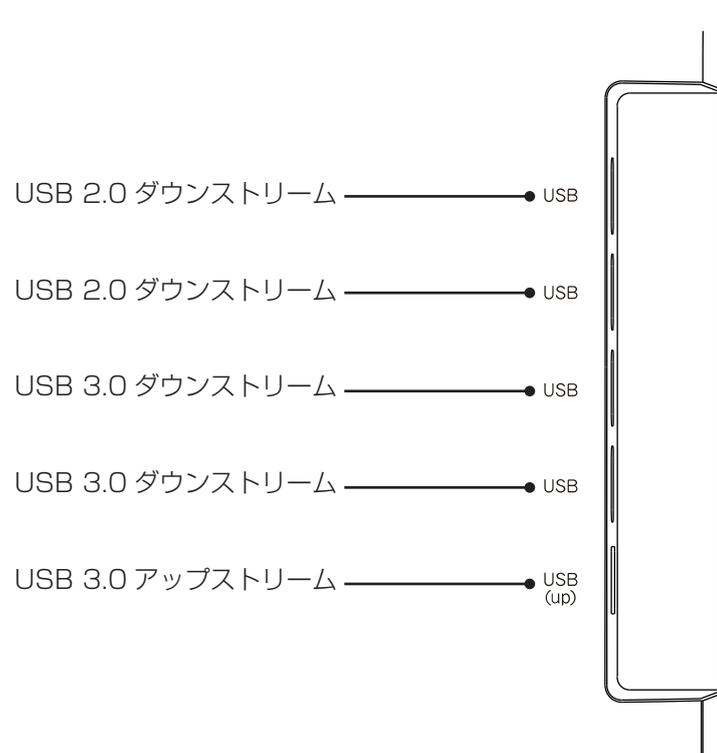


メニュー	メニューを表示します。メニュー画面では、選択項目を実行します
上、下	メニュー画面では、選択を上下に移動します
左、右	メニュー画面では、設定値を調整します
戻る/入力	外部入力を切り換えます。 メニュー画面では、画面案内にしたがって上の階層に戻ります
HDRモード	(メニュー画面が表示されていない時) HDRモードを選択します
音量	(メニュー画面が表示されていない時) 音量を調整します
電源	本体の電源を入/切します。 電源オフ(ランプ消灯)中に押すと、動作(ランプ青点灯)中になります。 動作(ランプ青点灯)中、待機(ランプ橙点灯)中に押すと、電源オフ(ランプ消灯)になります。

■ 映像音声接続端子部



■ USB 端子部



基本操作

電源を入れる

電源を入れる前に、外部機器を接続して信号を入力してください。

- 電源ケーブルをつなぎます
 - ※ 奥までしっかりさし込んでください。
 - ※ 電源ケーブルのアース線は必ず接地してください。

- 主電源スイッチを入れます

- [電源] ボタンを押します

電源が入るとランプが青点灯します。

※ 外部機器から信号が入力されていない場合、約 10 秒後に自動で待機状態になります。待機状態中に、選択している外部入力に信号が入力されると、自動で動作状態になります。

外部入力を切り換える

- メニュー画面を表示しない状態で、[戻る / 入力] ボタンを押します

- DP IN、Mini DP、HDMI1、HDMI2 から表示したい外部入力を [戻る / 入力] ボタンを押して選択してください

- [メニュー] ボタンを押して、決定します

※ 外部機器から信号が入力されていない場合、約 10 秒後に自動で待機状態になります。外部機器から信号を入力してから、再度 [戻る / 入力] ボタンを押して外部入力を選択してください。

※ 外部機器から信号が入力されていない場合、メニュー画面、HDR モード選択画面や音量調整画面が表示されません。

音量を調整する

- メニュー画面を表示しない状態で、[音量] ボタンを押します

- [左][右] キーで音量を調整します

HDR モードを設定する

- メニュー画面を表示しない状態で、[HDR モード] ボタンを押します、またはメニュー画面から [表示設定] [HDR モード] を選択します。

- 自動、オフ、オン、オンエンハンスから使用するモードを [左][右] キーで選択してください。

自動	入力映像が SDR、HDR のいずれであるかを自動判別して表示します。
オフ	入力映像を SDR 映像として表示します。
オン	入力映像を HDR 映像として表示します。
オンエンハンス	

※ マルチ表示設定を 4 分割表示に設定している場合、HDR モードは使用できず、すべてのソースを SDR 映像として表示します。HDR 映像を視聴する場合は、マルチ表示設定を、オフ、PIP、2 分割表示のいずれかに設定してください。

※ オン、オンエンハンス設定は、入力映像を強制的に HDR 映像として表示します。入力映像が SDR 映像の場合は、色が正しく表示されませんので、自動、またはオフに設定してください。

※ オフ設定は、入力映像を強制的に SDR 映像として表示します。入力映像が HDR 映像の場合は、色が正しく表示されませんので、自動、オン、またはオンエンハンスに設定してください。

USB ハブ機能を使用する

本製品は USB ハブ機能を搭載しています。例えば、アップストリーム端子に接続したパソコンなどを、ダウンストリーム端子に接続したマウス、キーボードなどで操作することができます。

マルチ画面表示を設定する

PIP、2分割表示、4分割表示のいずれかを選択します。

- メニュー画面から [マルチ表示設定] [マルチ表示設定] を選択します。
- オフ、PIP、2分割表示、4分割表示から使用する表示を [左] [右] キーで選択してください。
- [メニュー] ボタンを押して、決定します。

マルチ画面は、メインソース、サブソースから構成されています。

2分割表示時の画面レイアウト

メインソース	サブソース 1
--------	---------

4分割表示時の画面レイアウト

メインソース	サブソース 1
サブソース 2	サブソース 3

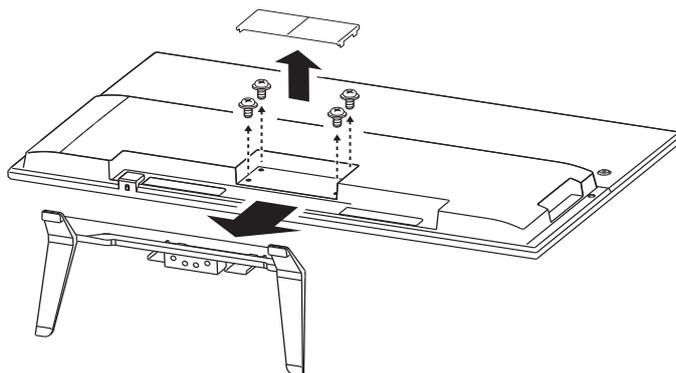
各ソースに表示したい外部入力を設定します。

- メニュー画面を表示しない状態で、[戻る / 入力] ボタンを押します。ソース選択画面が表示されます。
- 設定したいソースを [戻る / 入力] ボタンを押して選択した後、[メニュー] ボタンを押して決定します。外部入力選択画面が表示されます。
- 表示したい外部入力を [戻る / 入力] ボタンを押して選択した後、[メニュー] ボタンを押して決定します。

スタンドを取り外す

モニターを壁掛けするには、スタンドを取り外してください。スタンド部のカバーを両手で上にゆっくり取り外した後、ネジを取り外してください。手指などをはさまないように気をつけてください。

※ 取り付け・取り外しの際は、液晶画面などに衝撃、傷や汚れがないように、柔らかい布などを敷いてください。

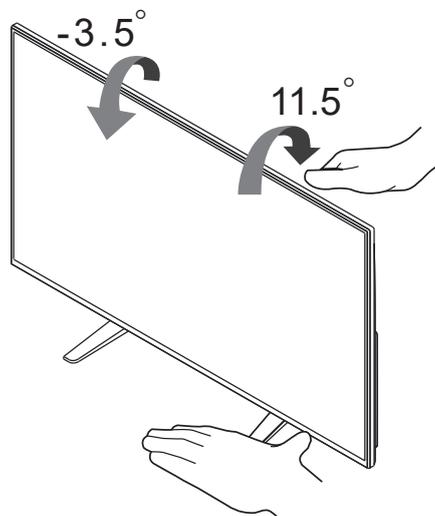


チルト

チルトの範囲は上方向に 11.5°、下方向に 3.5° です。

転倒しないように、スタンドを押さえながら、手指などをはさまないように気をつけて調整してください。

※ 液晶画面部に触れないようにしてください。液晶パネルを傷つけたりすることがあります。



メニュー画面一覧

メイン設定項目	画面表示	サブ設定項目	設定値	説明
明るさ設定 <small>※HDR表示中は変更できません。</small>		コントラスト	—	コントラストを調整します。
		輝度	—	輝度を調整します。
		モード	スタンダード	画質モードを選択します。
			テキスト	
			インターネット	
			ゲーム	
			シネマ	
		DCR	オン	DCR（ダイナミックコントラスト）機能を設定します。オンに設定すると、映像の内容に応じて、コントラストを自動調整します。
オフ				
オーバードライブ	オン	オーバードライブ機能を設定します。中間階調の応答速度を調整します。		
	オフ			
表示設定		映像比率	ワイド	映像比率を設定します。入力映像のアスペクト比が 4:3 の場合にのみ選択可能です。
			4:3	
		HDR モード	自動	HDR モードを選択します。 ・自動 入力映像が SDR、HDR 映像のいずれであるか自動判別して表示します。 ・オフ 入力映像を SDR 映像として表示します。HDR 映像の場合は、色は正しく表示されません。 ・オン ・オンエンハンス 入力映像を HDR 映像として表示します。SDR 映像の場合は、色は正しく表示されません。
			オフ	
			オン	
オン エンハンス				
色温度 <small>※HDR表示中は変更できません。</small>		高	—	映像の色調を調節します。
		中	—	
		低	—	
		ユーザー設定	赤	
			緑	
青				
OSD 設定		縦位置	—	メニュー画面の縦表示位置を調整します。
		横位置	—	メニュー画面の横表示位置を調整します。
		表示時間設定	—	メニュー画面の表示時間を設定します。
		言語	English/ 日本語	表示言語を選択します。

メイン設定項目	画面表示	サブ設定項目	設定値	説明
マルチ表示設定		マルチ表示設定	オフ	マルチ表示機能を使用しません。
			PIP	PIP 表示を有効にします。出荷時はメインソースに HDMI1、サブソース 1 に HDMI2 の入力映像を表示します。
			2 分割表示	2 分割表示を有効にします。出荷時はメインソースに HDMI1、サブソース 1 に HDMI2 の入力映像を表示します。
			4 分割表示	4 分割表示を有効にします。出荷時はメインソースに HDMI1、サブソース 1 に HDMI2、サブソース 2 に DP IN、サブソース 3 に Mini DP の入力映像を表示します。
		サイズ	小	PIP 画面のサイズを設定します。
			中	
			大	
		位置	右上	PIP 画面の表示位置を設定します。
			右下	
			左上	
左下				
表示入替	—	PIP、2 分割表示時に、メインソースとサブソース 1 の外部入力を入れ替えます。		
その他設定		入力切替	DP IN/ Mini DP/ HDMI 1/ HDMI 2	表示する外部入力を選択します。
		DDC/CI	オン	DDC/CI 機能を設定します。
			オフ	
		リセット	リセットする	出荷状態に初期化します。
			リセットしない	
		詳細情報	—	メインソースの映像情報を表示します。
		解像度		
水平周波数				
垂直周波数				

こんなときは？

映像や音声がなくなったり、本機の操作に困ったときなどは、以下の表で症状から調べてください。

症状	考えられる原因・対処法
ランプが点灯しません 画面に何も表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 電源ケーブルの接続を確認してください。コンセント側と本機側の両方がしっかりとさし込まれているか確認してください。 主電源スイッチが入っているか確認してください。 外部入力を正しく設定しているか、信号が入力されているか確認してください。選択した外部入力に信号が入力されていない場合、約 10 秒後に自動で待機状態になります。待機状態時はランプは橙色に点灯します。 HDMI ケーブルの接続を確認してください。本機側、外部機器側を抜き挿ししてみてください。
電源を入れて、電源ランプが点灯しているのに画面が映らない	<ul style="list-style-type: none"> 外部入力を正しく設定しているか確認してください。 画面の設定が暗くなっている可能性があります。メニュー画面で明るさ、コントラストを調整してください。 外部機器が黒画面を出力している可能性があります。外部機器が正常に動作しているかを確認してください。
「サポートされていない入力信号です」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> 外部機器からの入力信号フォーマットに対応していない可能性があります。対応しているフォーマットであるかを確認してください。対応していない場合は、外部機器の出力信号フォーマットを変更してみてください。
「信号がありません」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> 外部機器や本機に正しくケーブルが接続されているか確認してください。また、外部機器が正常に信号を出力しているか確認してください。 外部入力を正しく設定しているか確認してください。
色がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> 設定した HDR モードが入力映像と合っているか確認してください。SDR 映像の場合、自動、またはオフに設定してください。HDR 映像の場合、自動、オン、またはオンエンハンスに設定してください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 映像音声は極端に小さかったり、音量の設定が小さすぎる可能性があります。[音量] ボタンを押して、音量を調整してください。 ヘッドフォンを接続している場合、スピーカーから音声は出力されません。 HDMI ケーブル、Display Port ケーブルが正しく接続されているか確認してください。4K などの高解像度の映像を伝送する場合は、対応したケーブルを使用する必要があります。
USB 機器が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> USB 機器が正しくアップストリーム、またはダウンストリームに接続されているか確認してください。
映像が途切れたり、解像度が低くなる	<ul style="list-style-type: none"> 外部機器や本機に正しくケーブルが接続されているか確認してください。 4K などの高解像度の映像を伝送する場合は、対応したケーブルを使用する必要があります。伝送速度に対応したケーブルをご使用ください。
明るさ設定、色温度を変更できない	<ul style="list-style-type: none"> HDR 表示中は調整できません。一旦、HDR モードをオフにしてから設定してください。

主な製品仕様

外形寸法	約 966 mm(W) x 617 mm(H) x 255 mm(D) ※突起部を除く	
画面寸法	約 941.2 mm(H) x 529.4 mm(V)	
質量	約 12.7 kg(スタンド含む)	
動作環境	使用時：0～40℃、10～85%RH(結露なきこと) 保管時：-20～60℃、5～80%RH(結露なきこと)	
液晶パネル	画素数	3840 x 2160
	画素ピッチ	0.2451 mm(H) x 0.2451 mm(V)
	最大輝度	350 cd/m ²
	コントラスト	1100:1
	応答速度	12 ms (GTG)
	視野角	上下 178° 左右 178° コントラスト比 10:1 を確保できる角度
接続端子	HDMI 入力 2 系統(バージョン 2.0)	
	Display Port 入力 1 系統(バージョン 1.2)	
	mini Display Port 入力 1 系統(バージョン 1.2)	
	Display Port 出力 1 系統(バージョン 1.2、MST 非対応)	
	ヘッドフォン出力 3.5 φステレオミニジャック 1 系統	
	USB アップストリーム 1 系統(バージョン 3.0)	
	USB ダウンストリーム 2 系統(バージョン 3.0)	
	USB ダウンストリーム 2 系統(バージョン 2.0)	
消費電力	動作時	125W 以下
	待機時	0.5W 以下
	オフ時	0.5W 以下
音声出力	スピーカー 7W+7W	
電源	AC100V 50Hz/60Hz	
チルト角度	上 11.5° 下 3.5°	
壁掛対応	VESA 規格 200 mm x 100 mm、ネジ M4	

対応入力信号 フォーマット	VGA	640x480 @ 60Hz DMT
		640x480 @ 72Hz DMT
		640x480 @ 75Hz DMT
	Mac-mode	640x480 @ 67Hz MAC
		832x624 @ 75Hz MAC
	XGA	1024x768 @ 60Hz DMT
		1024x768 @ 70Hz DMT
		1024x768 @ 75Hz DMT
	Dos-mode	720x400 @ 70Hz DOS
	SVGA	800x600 @ 56Hz DMT
		800x600 @ 60Hz DMT
		800x600 @ 72Hz DMT
		800x600 @ 75Hz DMT
	SXGA	1152x870 @ 75Hz Apple, Mac II
		1280x960 @ 60Hz DMT
		1280x1024 @ 60Hz DMT
		1280x1024 @ 75Hz DMT
	WSXGA	1440x900 @ 60Hz DMT
	WSXGA+	1680x1050 @ 60Hz DMT
	FULL HD	1920x1080 @ 60Hz DMT
QHD	2560x1440 @ 60Hz DMT	
UHD	3840x2160 @ 60Hz DMT	

※ 接続端子は、すべての機器との接続動作を保証するものではありません。

※ この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。(VCCI-B)

※ 仕様および外観は、性能向上やその他の理由で予告なく変更される場合があります。

※ 液晶画面部に触れないようにしてください。液晶パネルを傷つけたりすることがあります。

お問い合わせ先

■メールお問い合わせフォーム、各製品のQ&Aなど <http://pixela.jp/contact>

■電話でのお問い合わせ 受付時間：10時から18時（年末年始祝日除く）

固定電話をご利用の場合



0120-727-231（無料）

携帯電話をご利用の場合



0570-064-246（有料）

製品の詳しい情報や、最新情報については弊社ホームページを確認してください <http://www.pixela.co.jp/>